

# 自衛隊、危険な変貌

## 岐阜でつどい 日米会談を批判

岐阜市で28日、「自衛隊の軍事化について

どう思うか考えてみよう」とつどいが開かれ、17人が参加しました。主催は「岐阜・九条の会」サロン9条例会。

代表世話人の吉田千秋さん（元岐阜大学教授）が開会あいさつで、「兵器爆買い」「イース配備」「トランプ、護衛艦「かが」視察」など、各紙が取り上げた記事を紹介。「日本を守る」といいながら、「日本を盾にする」戦略であり、極めて危険だと問題点を

指摘したあと、「イラク派兵」「南スーダン武力衝突」など、自衛隊任務の変貌を追及したDVDを視聴しました。

討論では、男性が「F35ステルス戦闘機を105機も追加して何に使うのか」、女性

は「自衛隊幹部は憲法の枠内を理解し、ギリギリのところで命を守った」、自衛隊員募集で自治体を締め付ける安倍首相は許せない」などの意見が出され、「おもてなし」が前面に出た日米首脳会談を批判しました。